

中等教育における農業教育強化（長野県・高大連携グローバル教育促進）（2022年2月～2025年2月）



将来のグローバル人材の育成！

～農業教育強化による農業人材の育成を通して～

■ 実施団体：

国立大学法人 信州大学
（提案自治体：長野県）



■ 対象国・地域：

ネパール国

バグマティ州カブレ郡バネバ
ダウラギリ州ムスタン郡コバン
バグマティ州チトワン郡ラトナナガル

■ 現地カウンターパート

- ・教育省カリキュラム開発センター（CDC）
- ・ATS Foundation (NGO)

■ 協力内容：

- 長野県、高校、大学の連携のもと、ネパール及び長野県の農業分野における人材育成への貢献を目指す。
- 先行案件のモデル校に、環境の異なる地域の農業高校2校を対象に加え、これまでの農業高校での教育改善事業を**地域の特性に適した実践的な農業教育体制・指導方法・教材の開発の強化**に取り組む。

■ 団体のこれまでの取り組み：

・草の根技術協力事業「ネパールの農業高校における農業教育強化プロジェクト」（2016年～2018年）」

→信州大学と上伊那農業高校との連携で、モデル農業高校を対象に課題の抽出を実施。アクションプランの作成、農業教育の体制や指導方法の導入及びその改善を実践した。

■ 事業実施の背景：

・ネパール国は農村地域における高度な農業技術者・経営者の育成を目指し2014年から全国各地の中等教育において農業課程の設置を進めてきた。しかし教員の人材育成制度や教材等が未整備で実践的な指導・ノウハウの蓄積がなく、実際の農業技術の教育体制は脆弱。地域に適合した農業教育の実践がなく課題として挙げられていた。

ネパール国の課題と取組み

課題：中等教育の農業課程において、国内標高差が大きく多様な気候を有するネパールにおける地域の特性に適した実践的な農業教育体制・指導方法・教材が不足している。

成果

- 実践的農業教育の指導方法・教材を導入
⇒農業科教員の100%が地域農業への理解度を深め、**地域の気候に合わせた作物選定、学校圃場の活性化、学習項目を体系的に整理するなど指導力が高まった。**
⇒新しい指導法で授業を受けた生徒の全員が地域農業への理解度を深めた。
- 実践的農業教育のための指導マニュアル・補助教材を作成、セミナーにて周辺の学校に共有
⇒**目標を上回る16の群から27校の参加。ネパール教育省もカリキュラムへの導入の検討を開始。**
- 長野県・高大連携による国際協力事業の実施を通して、継続的な支援体制を構築。

事業の波及効果

！ 長野県・信州大学・上伊那農業高校が連携し事業を実施。地域のグローバル人材育成や国際対応力強化に貢献！

・長野県の予算で上伊那農業高校の教員、生徒、教育委員会の計8名がネパールに派遣されオンラインで交流していた現地学校を訪問。**農業を通じた国際協力を志す学生を複数名輩出。**

・地方紙掲載、ケーブルTV、ラジオ出演などの広報の件数は約 50 回！



白菜の栽培 学習成果伝える

上伊那農業高校 ネパールとオンライン交流